

■ 未来に挑戦するデジタル産業の集積

次世代半導体やデータセンターなどデジタル産業の集積を促進するとともに、本道での未来技術の実証実験を支援します。

(政策展開の方向性)  
 次世代半導体の製造に加え、研究や人材育成等が一体となった複合拠点の実現に向けて取り組みます。また、これらを核とした関連産業の振興やデジタル人材拠点の形成に向けた取組を推進するとともに、再生可能エネルギーを活用するデータセンターの誘致による北海道データセンターパークの創出に取り組むなど、本道へのデジタル産業の集積を図ります。未来技術関連のワンストップ窓口を設置し、本道をテストフィールドとした先駆的な実証実験の支援や情報発信に取り組みます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
科学技術の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道総研の運営支援や年度計画・中期計画の進捗状況を管理、国の大型プロジェクトを活用した研究開発拠点の形成支援、産学官が連携して行う基礎的研究や発展的な応用研究等への支援を実施</li> <li>○科学技術を担う人材の確保・育成のため、科学体験イベント「サイエンスパーク」を開催【R6.7～R7.1、参加者数1,134人、26,000アクセス】し、子どもが科学技術に触れ、関心を高めてもらう機会を創出したほか、知事表彰として、科学技術上の優れた功績のあった研究者に対する表彰を実施【R7.8名】</li> <li>○道内中小企業等による特許など知的財産権を活用した事業展開を支援するため、北海道知的所有権センター内に専門知識を有した特許流通サポーターを配置して特許流通の相談等を行ったほか、北海道知的財産戦略本部の構成機関と連携しながら、北海道知的財産情報センターの利用促進を図るための普及啓発を促進【特許流通サポーター相談件数 R5：790件、R6：791件】</li> </ul>	0204
海外市場の開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境・DX分野において、台湾の展示会出展【R6:6社】と、商談【R6:26社】を実施</li> <li>○本道の投資環境PRのため、海外企業の招へい【R6:14社】やセミコン台湾への出展【R6.9月】</li> <li>○投資促進に向けた関係機関の連携及び受入体制の強化を図るため北海道への投資促進に向けた連携会議を開催し、道内の投資動向等に係る関係機関・市町村との情報共有や事例発表を実施【R6.12月開催】</li> <li>○米国や欧州において、本道へのDX・GXなどの投資呼び込みや食・観光に係るトップセールスを実施【R6.8、R7.1米国プロモーション】【R6.10欧州プロモーション】</li> </ul>	0205

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ等(「◇～」)より引用・作成

環境・エネルギー産業の振興	<p>○コーディネーター派遣による市町村の新エネルギー導入を支援【R5：35市町村、R6：18市町村】</p> <p>○省エネルギー・新エネルギーの開発・導入に資する製品・サービスを提供する環境関連産業の振興に向け、環境・エネルギー関連の技術開発等への支援を実施</p> <p>【技術開発補助 R5：2件、R6：3件】</p> <p>【道外展示会出展支援 R5：19社、R6：19社（延べ社数）】</p> <p>【専門家による伴走支援 R6：5社】</p> <p>○参入促進に向けた検討会開催や水素サプライチェーンプロジェクトの構築支援の実施により、水素関連産業の形成を促進</p> <p>【ビジネス検討会開催 R5：6回、R6：6回】</p> <p>【国等のFS採択（実証案件）を目指すPJ構築支援 R5：1件、R6：2件】</p> <p>【上記以外の道内ポテンシャル調査PJ構築支援 R5：2件、R6：1件】</p> <p>○再エネ海域利用法に基づく「有望区域」に指定された道内5区域のうち2区域（檜山沖、岩宇・南後志地区沖）において法定協議会（3回）を開催し、促進区域の指定にあたっての利害関係者との調整や地域・漁業との共存・共栄策を協議</p> <p>○洋上風力発電の導入促進に向け、住民説明会等や全道セミナーを開催</p> <p>○技術系教育機関における進路啓発として出前授業、バスツアーを実施</p> <p>○道内中小企業に対し、洋上風力の建設やメンテナンスに必要な専門知識や技能、資格を取得するために要する経費を補助【R6.8～R7.6：3件】</p> <p>○道民や市町村、事業者、関係団体等を対象とした支援制度の説明会やフォーラム・セミナー等を開催</p> <p>○北海道GX推進税制の運用を開始【R7.4～】</p> <p>○事業者や金融機関、関係団体を対象とした、北海道GX推進税制など支援制度の説明会を開催</p>	0508
デジタル関連企業の集積	<p>○国内外のデータセンター事業者や投資家に向けて、冷涼な気候や豊富な再生可能エネルギーなどの北海道の立地環境をPRするセミナーを東京都で開催した【R7.1】ほか、シンガポールで海外事業者との商談会を実施する【R7.2】など、本道へのデータセンターやデジタル関連企業の誘致に繋げる取組を促進</p> <p>○デジタル関連を中心とした首都圏企業の開発拠点の誘致や本社機能移転の促進等に向けたセミナーを東京都で開催した【R6.10】ほか、首都圏のデジタル関連企業と道内の大学や自治体等との連携を促進し、道内地域のより詳細な情報をPRするマッチングイベントを東京都で開催する【R7.2】など、デジタル関連企業の誘致に繋げる取組を促進</p>	0510
半導体関連産業の振興	<p>○ラピダス社の水利用に関し、住民の安全・安心を確保するため、「Rapidus株式会社の水利用に関する協定」を締結【R7.1】</p> <p>○半導体関連産業の集積を図るため、半導体に関する全国的な展示会への出展（国内3カ所、海外1カ所）や、道内企業の半導体関連産業への参入促進・取引拡大を目指した参入促進セミナー（3回）を開催</p> <p>○若年層の半導体や半導体関連産業への理解を深めるため、高校向け出前講座（25校（うち2校は教育庁事業））や小中学校向け体験教室（16校）を開催</p> <p>○道民の理解促進を図るため道内14カ所で道民向けセミナーを開催</p> <p>○半導体産業に係る複合拠点の実現のため、北大や札幌市等と連携して研究・人材育成等を実施</p> <p>◇半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点の実現とともに、食や観光、再生可能エネルギーなど本道の強みである産業振興と合わせて、本道経済全体の成長に結びつけていくための指針となる「北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン」を策定【R6.4】</p> <p>◇ラピダス社のパイロットライン立ち上げ【R7.4】、2nm半導体のGAAトランジスタ試作成功【R7.7】</p>	0511

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書（「○～」）、道ホームページ等（「◇～」）より引用・作成

宇宙航空産業の振興	<p>○宇宙航空産業への投資の呼び込みやスタートアップの促進に向けて、国内外の宇宙・航空分野の最新情報の提供や人との繋がりの方場の創出、人材確保のほか、海外需要の獲得を支援するとともに、航空機関連産業への参入促進に向けた取組支援</p>	0514
スタートアップ創出・集積の促進	<p>○起業に関心のある社会人等を対象としたビジネスアイデアを創出するワークショップの開催  【BASIC PROGRAM：オンラインで計5日間で開催、延べ100人参加】  【IDEA PROGRAM：道内5カ所2日間で開催、延べ143人参加】  【ADVANCED PROGRAM：5名選考しオンライン+対面により計3回実施】</p> <p>○事業計画策定から投資家とのマッチングまで一貫した伴走支援の実施</p> <p>○オープンイノベーションプログラムの実施  ・道内自治体等とスタートアップのマッチングによる実証実験への支援を実施  ・計3社とマッチングし実証実験への支援を実施</p> <p>○スタートアップ・ビザ取得者への定着支援  ・海外起業家を対象とした申請前から入国後の定着までの支援【定着支援者数：15名】</p> <p>○札幌・北海道スタートアップ・エコシステムのPR  ・道外の投資家等を集めたPRイベントの開催【道内3地域、延べ600名以上、参加国：18カ国以上】</p>	0515
企業誘致の推進・集積の促進	<p>○豊富な再生可能エネルギーや冷涼な気候といった本道の立地優位性をアピールしながら、トップセールスやセミナーの開催、展示会への出展、企業訪問などの誘致活動を促進【セミナー・展示会等（トップセールスを含む）～R6:20事業、企業訪問～R6:1,040件】</p> <p>○苫小牧東部開発連絡協議会及び石狩湾新港地域開発連絡協議会（ともに道が事務局）として、国に対し、当該地域の開発に関し、基盤整備の推進や各種プロジェクトの導入促進などについて要望活動を実施</p>	0516
デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進	<p>○地域課題の解決に向け、市町村と民間企業が連携して実施するIoT実装による地域課題解決の取組に対して財政的支援を実施【R6:1団体】</p> <p>○地域課題解決に資する未来技術を持った事業者と地域課題を持つ市町村がマッチングする場として「地域課題解決型ピッチイベントUPDATE179」を開催【R6.10】、両者のマッチング機会の創出により、3件の実証が成立し、1件の実証体制を構築</p> <p>○平時と災害時をまたぐシームレスなドローンの活用について実証を行い、その結果や、明らかとなった課題をとりまとめ、ハンドブックを作成・公開【R6】</p> <p>○北海道Society5.0推進会議を開催し、次期北海道Society5.0推進計画の策定に向けて有識者から意見聴取を実施【R6、R7】</p> <p>○北海道デジタル人材育成推進協議会へ参画し、デジタル人材の育成・確保に向けた推進体制の構築・取組を促進【R6】</p> <p>○オープンデータ取組済の市町村の件数が改善【174市町村（R5）→176市町村（R6）】し、市町村のオープンデータに対する意識高揚を促進</p> <p>○ドローンの社会実装に向けた関係者間の連携強化や機運醸成を目的に、国と道の共催で「ドローンサミット」を開催。併せて、DXや未来技術を体感する場として、民間企業と連携して「北海道ミライづくりフォーラム」を開催【R6.10】</p> <p>◇未来技術（AI・遠隔医療・空飛ぶクルマ等）に関する総合相談窓口を設置し、各種相談等に対応</p> <p>◇ドローン全般に関する総合窓口を設置し、各種相談等に対応</p>	0525

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書（「○～」）、道ホームページ等（「◇～」）より引用・作成